

「ひが史」に高速の紹介記事が掲載されました

日本の凄い技術が見える情報誌「ひが史」に株式会社高速（以下、「弊社」）の会社紹介記事が掲載されました*1。

「ひが史」は東日本各地の優れたノウハウや技術を持った地元企業を全国へ広げることを目的として、第一生命東日本法人営業部の皆様のお力で昨年から発行・配布されている情報誌です。コロナ禍で対面交流が難しい昨今、企業間の架け橋となる素晴らしいツールです。今回、弊社の取り組みや経営方針をご丁寧に要約・掲載していただきました。ぜひ下記文面をご覧ください。



**豊富な知識と情報で
最適な提案を**
食品包装資材開発における国内トップ企業としてのスキルをフルに活用し、あらゆる角度から顧客に合わせた提案を行い、最適な提案を実現している。商品の鮮度を保ち、価値を高める包装資材を提供することに加え、企画・デザインを含めた商品開発や売場提案にも多岐にわたるサービスに対応している。

**より良い人材づくりが
企業の成長に**
4月からスタートさせた2018年中長期計画において「包装を通じた、すべてのステークホルダーに「高速ファン」を増やし、社会にとって有用な「アップカントリー」を目指す」という長期経営ビジョンを掲げている。すべてのステーク

提案をはじめ、OEM商品やオリジナル商品などの開発や販売にも取り組んでいる。これは、包装資材に関する豊富な知識と情報力があるからこそのことである。その実力の一つに、グループ企業としてのネットワークがある。あらゆるニーズに応えるため、迅速に連携するのはもちろん、「無ければ作る」の発想で製造メーカーをグループにしたのだ。これは「適正なものを適正価格で売る」というコスト面でも大きな役割を果たしている。

ホルダー」とはマーケティング、得意先・販売先、取引先や任人、専業主婦、地域社会、従業員とその家族のことを想定している。どの項目も重視だが、現在力をいれているのは従業員とその家族に対する取り組みで、働きがいのある企業作りを通じて、従業員満足度の向上を目指す。これを基本方針の一つとして掲げている。「ES（従業員満足）を高める」と「顧客満足」を高めるように、従業員が自分の仕事に誇りを持てるように、入社後2～4年目まではお客さまを満足させることではないかと考えているのだ。

「雇用の安定を重視し、採用の強化と研修制度の充実を図っている。研修のポイントには社員全員参加の経営意識を持って、連帯感の醸成、営業・事務・業務全体のレベルアップ、事務知識やスキルに応じた業務に役立つ研修、及び階層別研修制度の充実等と、ともに、入社後2～4年目までは会社制度の理解・浸透を目的として毎年研修会を実施している。一部上場企業の社員として、遵守すべき法令に関する事項や、成長の力となる人事・評価制度の教育等を行っている。また、人事制度を刷新し従業員のキャリアアップの見える化をはかり、働きがいを感じる職場作りにも注力している。



株式会社 高速
〒983-8555 仙台市青葉区新町7丁目4番20号
TEL | 022-259-1611 FAX | 022-259-7833

昭和41年の創業以来、包装資材の専門商社として今日まで食文化の発展に深く関わり、包装資材のみならず、チラシやラベルなどの販売促進ツールの提案や包装に関連する機械販売など、幅広い業務を展開し、全国各地に多数の営業拠点ネットワークを持つ。

2018年度から従業員の業務効率化と一体感醸成のため、年間を単位として「感謝カード」活動を実施している。「ありがとう」のメッセージを大きな効果を生むという狙いがある。各部署内でチームが完成させた業務改善案を提案する。これにより業務効率化や時間外勤務削減等、多様なテーマで100を超えるチームがエタリ。実際に効率化につながった事例も多く、好事例は他部署へも展開、全社的な効率化へと発展している。まさに、社員の成長や業務改善が会社の成長につながったといえるだろう。

2019年7月にリニューアルした社内報「夢とロマン」は「ひとひとが活躍できるスピード」を毎号の社員が登場する。中でも、優秀社員と社長の対談は名物となっている。

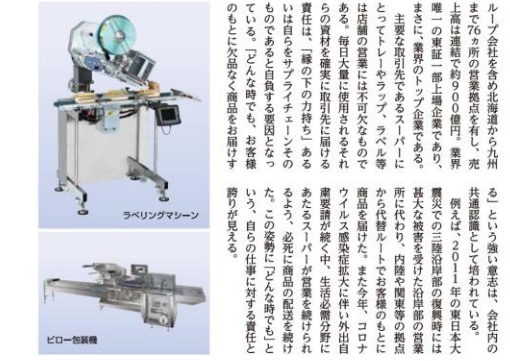
コロナで、若手の社員と経営者が親しみやすい雰囲気の中で対談を繰り返している。社内報には社内に登壇した社員ご自身の言葉に、まさに従業員ご自身の家族に向けた「高速ファンづくり」の取組みの一端という意図が込められている。

2021年2月に創設した55歳を越えた、現念に年齢層と初めは株主権を兼ねた。連絡調整は今期で17期連続となり、すべてのステークホルダーに「高速ファン」を増やそうという目標に一歩近づいたのではないだろうか。今後も日本の「食」を支え、という使命は、使命を果たすことと成長を「高速ファン」は期待しているだろう。



**あれもこれも、
高速です。**
「買いたい物カゴ」

**ほしい物を、ほしい時に、ほしいだけ。
総合力で日本の「食」を支える。**
「誰の力も借りず」として、しっかりと日本の「食」を支える食品包装資材の専門商社。圧倒的な知識と情報による提案力、そして全国に広がる流通ネットワークの総合力で、いついかなる時でも、安全・安心な「食」の流通を実現している。



代表取締役社長 藤 裕規
2020年度は新型コロナウイルス感染症への対応で不透明な情勢が続きますが、サプライチェーンを担う企業として食の流通を支えながら、みなさまの期待にお応えしてまいりたいと考えております。

「ひが史」弊社紹介記事

以上

*1 「ひが史」2020年秋号（11月発行） 弊社紹介記事 pp.7-8